

#### 第9回ビジネスプランコンテストを終えて

ベンチャービジネス研究所所長 経営学部教授 水野 浩児

第9回ビジネスプランコンテストは、一次審査に66 組248名の参加申込を得て、3年連続60組200名を超えました。また今回から、本学が位置する茨木市にゆかりのあるフジテック株式会社様より協賛いただき「フジテック杯」として開催することができました。さらにはベンチャー企業育成に注力している茨木市様からも後援いただくことができました。

回数を重ねるごとにビジネスプランの内容も工夫され レベルが年々上がっていることを感じるとともに、ビジネスプランを考える参加者の努力やチームワークの良さ、 更には積極的な姿勢を感じることができました。平成 30年12月6日の二次審査に進んだ18組91名は、時代の 流れを敏感にくみ取り、市場調査を綿密に行った、ハイ レベルなプレゼンテーションを披露し、発表会を盛り上 げていただき盛会裏に終わりました。特にプレゼンテー ションの表現力はパワーポイントによる見せ方の工夫の みならず、トーク力も年々向上し、将来企業などで商品 企画を行ううえでも、即戦力として活躍できるレベルの 内容ばかりでした。

そのようなレベルの高いコンテストになる背景には、 多くの方のご協力があって初めて成り立つものです。これもひとえに、コンテストの企画から審査ならびに採点さらには会場設営に至るまで携わっていただきました審査員の皆様や所員・研究員の先生方をはじめ、多くの関係の皆様に心から感謝を申し上げます。特にフジテック株式会社の協賛や、実務に関与されている方が見守る中でプレゼンテーションが行われ、事業に直結する緊張感あふれる雰囲気でコンテストは行われました。

ここ数年来、ベンチャービジネス研究所の取組方針と して、「学生が成長できる研究所」、「実務で役立つ人材 育成」を掲げ取組んでおります。入賞者のコメントなど を聞いていると、このコンテストでの入賞を目標に、長 期間にわたり努力を続けたことを感じることができまし た。多くの学生が真剣に取組んでくれたことは、入賞し た学生はもちろんのこと、受賞できなかった学生諸君も 成長できたと感じております。このコンテストに参加し た皆さんが、ビジネスプランコンテスト入賞を一つの目 標として、研究を重ね、仲間と議論し、指導者から指導 を受け臨んだことは、友人との絆の構築にも繋がり、学 生生活の貴重な想い出にもつながったのではないでしょ うか。二次審査においては、企画力の評価を現場レベル の厳しい目線で評価いただき、いい企画はそのままビジ ネスに使っていただけることを前提に審査をお願いしま した。フジテック株式会社執行役員・日本政策金融公庫 吹田支店長・本学名誉教授・毎日放送人事局の方々に囲 まれ、企業プレゼン並みの緊張感の中、発表は行われ、 その空気の中で発表した皆さんは素晴らしい経験ができ 大きく成長したように思います。

ビジネスプランコンテスト第9回目の特徴は、一次審査通過水準が非常に高くなり、ボーダーラインに多くのプランが残り、甲乙つけがたい審査段階で悩ましかったことがあげられます。惜しくも二次審査に進めなかったチームでも、アイデア的に興味深いものが多く、プレゼンテーションのある二次審査に進めば高得点を獲得できたと思われるプランも数多くありました。二次審査では、発表者のプレゼンテーション企画力や表現力が高く、動画を活用した若者目線での表現も多数行われ、プランのポイントを的確に表現できていました。どのプランも制限時間をフルに使い、時間内で表現している点は、日頃より幾度となく練習を重ねていることが伝わりました。

## Newsletter

追手門学院大学ベンチャービジネス研究所

一方、緊張のせいか、ビジネスにつながるポイントをアピールできなかったものや、計数面でビジネスモデルの検証不足を感じるプランも多く、これからの課題と認識しました。

最優秀賞とフジテック特別賞を獲得されたFUJI・Sun (矢川さん、兵庫さん)の「プロエレ」は、フジテック杯に見事にマッチした内容で、エレベーターの待ち時間によるストレスを解消させる工夫をテーマにするなど、誰もが「なるほど」と思わせる企画内容でした。またストレス指数を計数化し、効果をわかりやすく表現した点に工夫を感じることができました。優秀賞に選ばれました「空港から宿までの案内付きポーターサービス」は学生の空き時間を活用したシェアビジネスで外国人観光客が年々増加し東京五輪・大阪万博などイベントが続く状況においてビジネスに直結できる可能性を感じることができる内容でした。

同じく優秀賞に選ばれました「地域を超えた親孝行交換サービス」は高齢化社会が進展する現代社会の問題点を的確に捉え、「スーパーロッカー」と「(非)地方伝統祭事保全協会(株)丸受け屋」の提案も女性の社会進出や核家族問題、少子高齢化社会などのニーズを的確に捉えたもので、課題解決につながる提案がなされた意義深い内容でした。

いずれのプランも、更なる工夫を加え、本気でビジネスプラン実現に向け取り組めば、企業において即戦力で 使える内容だったように思われます。

他の発表者も、堂々と発表を行い、パワーポイント画面についても見やすく、発表者の意図を伝えるための工夫がされ、日頃の努力が窺がえました。

一方、更なるレベルアップを目指すには、事業をスタートする際の設備面の検証や、ビジネスプランの採算性の説明について的確にまとめる必要があるように思います。この点の改善は今後の課題として前向きにと捉え、来年度以降にさらにレベルアップすることを期待しつつ、教育現場からも更なる指導を行う必要があると感じました。

第7回及び第8回の本ビジネスプランコンテストにて最優秀賞を受賞したチームは、後に行われた関西ベンチャー学会で発表を行い、そこでも優勝しており、このコンテストのレベルの高さが窺われました。今回最優秀賞を受賞した「FUJI・Sun」は追手門学院大学代表として関西ベンチャー学会での発表を予定しており、優秀な評価を得てくれることが期待されます。今回のコンテストに応募いただいた学生の皆さんは、是非ともこの経験を活かして将来に役立ててください。

来年度は北おおさか信用金庫様からの協力を得て更に レベルの高いビジネスプランコンテストにしたいと考え ています。多くの参加を得てレベルの高い学生らしいプ ランを披露いただけることを楽しみにしています。



#### 第9回追大学生ビジネスプランコンテストを終えて〈感想〉

審査員 フジテック株式会社 執行役員 近畿統括本部長 荒木 麻美

まず、貴研究所主催の「第9回ビジネスプランコンテスト」が、見事成功裏に終わられた事、誠にめでたくお祝い申し上げます。

9年間継続での開催には、幾多のご苦労があったこと と推察いたします。

貴研究所並びにスタッフの方々のご尽力に只々頭が下 がるばかりです。

ご苦労を労うとともに敬意を表したいと思います。

今回は査員という大役を仰せつかり、18組からの発表を緊張感を持って拝聴させて頂きました。実は当初コンテストの趣旨を伺った折に、学生の方々がビジネスプランを考え発表されるということ、それも僅か6分間の持ち時間でもあり、「市場性」に合致したプランや「現実性」に富んだプランが、どこまで納得性のあるものとなるのか疑心暗鬼でありました。しかしながら、コンテストが始まると、学生の皆さんは決して物怖じする事な

く、着眼点のすばらしい発表から、苦笑い含みまで多種 多様な発表をされ驚かされました。

内容は「独創的」なアイデアや「社会貢献性」までも 考慮されており実に感心致しました。

企業理念・背景・標的・実現手段と体よく纏まってお り、緊張しながらも何とか相手に「伝えたい」という情 熱をも伝わってきました。

ビジネスとして検討するにあたり、少し掘り下げて質問したい部分もございましたが、時間的制約もあり、収支計画の部分が若干説明不足なようにも感じました。

ビジネスプランを具現化、継続させるとき、最も重要 になるのが収益シュミレーションであり、先ずはそこに 着眼してしまっておりました。 30年を超えビジネスマンを続けてきたものの性と反省しきりであります。

改めて振り返りますと、実にユニークで事業展開への 発展性をも感じさせて頂けるプランもあり、時代に即す る事への必要性を再確認させて頂けた有意義な機会であ りました。

今回当コンテストへ初めて参加させて頂きましたが、 最大の収穫は、情熱と活力ある学生の方々にお会い出来 たことです。

最終選考に残られた18組のチームは漏れなく発表を 楽しみ、活きいきとされておりました。

皆さんの今後のご活躍が楽しみでなりません。ご期待 申し上げます。

#### 第9回追大学生ビジネスプランコンテスト〈感想〉

審查員 株式会社日本政策金融公庫 吹田支店長 谷口 昌次

この度は第9回追大学生ビジネスプランコンテストに審査員として参加させていただき、感謝すると同時に自分自身も大変勉強になりました。数十年ぶりに座った大学の階段教室の椅子は、私に遠い昔の大学生活を少し思い出させてくれたような気がしました。そんな中で発表された18組のビジネスプランはいずれもレベルが高く、本当に素晴らしいプレゼンテーションでした。心地良い緊張感の中でのあっという間の3時間でした。

私はビジネスはそもそも "楽しいもの" だと思っています。また、そうあるべきだと思っています。仲間でワイワイ議論を重ねる中で、斬新なアイデアや独創的な企画が生まれてくることも多いと思います。皆さんの笑顔にあふれた楽しいプレゼンテーションに触れ、構想段階から仲間と充実した時間を過ごしてこられたことがうかがえ、発表まで苦労しながらも前進する皆さんの姿が目に浮かんでくるようでした。

最優秀賞を獲得された「FUJI・Sun」の「プロエレ: プロジェクション・エレベーター」は、都会におけるビルのエレベーターの待ち時間に「ストレス」の存在を見出し、そこに「広告」によるビジネスチャンスを絡ませるという着想に感心させられました。ビジネスモデルも明確で、ビルオーナー、クライアント、利用者、プロエレそれぞれの視点による戦略もシンプルながらも説得力 のあるものでした。まさにあっぱれといった感じでした。 その他の優秀賞4組、奨励賞6組のプランにも随所 にきらりと光るポイントがありました。全体として市場 リサーチや収支見通し等、ビジネスの実現可能性に直結 する部分をもう少し掘り下げて聞きたいという気持ちも "金融機関審査員"としては持ちました。しかし、限ら れた時間の中では、まずはプランの輪郭をはっきり示す 必要があるため皆さんのプレゼンテーションの方向性で 有りなのかなとも理解しています。

今回のコンテストを通じて私が強く感じたのは、皆さんが社会が抱える問題にしっかり正面から向き合うことができているということです。ご承知のように日本においては少子高齢化、人口減少、地方都市の衰退等、新しい社会問題が大きくクローズアップされるようになってきました。これら社会が抱える諸課題をビジネスという手法で解決していこうというのが、ソーシャルビジネスの考えです。今回のコンテストにおいても多くのチームが、こうした観点からプランを発表されており、頼もしく思いました。

ビジネスとは深く「社会に関わる」ことが前提となります。今回ビジネスプランを考えることで、これまで以上に複眼的に社会を見ることができるようになったのではないでしょうか。テレビでチコちゃんが「ボーっと生

きてんじゃねーよ!」と叱っていますが、様々な視点から社会を見つめることがビジネスプランを作る上で重要ですし、社会の動きに興味を持ち、関心を寄せることでビジネスにつながるヒントが見えてくると思います。

平成の時代も残すところあとわずかとなりました。学生の皆さんは新しい時代の中心となって社会を動かしていく存在になるわけです。次の時代へ向けて更なる成長、活躍を期待いたします。最後に気持ちの良い挨拶を始めとした学生の皆さんの礼儀正しさも印象に残ったことを付け加えておきます。

ありがとうございました。



#### 第9回追大学生ビジネスプランコンテスト〈感想〉

審査員 株式会社毎日放送 人事局キャリア推進部チーフコーディネーター 和田 充弘

追大を代表するイベントに審査員として参加し、「熱」のある学生さん達と楽しく貴重な時間を過ごさせていただくことができました。ありがとうございました。何分、ビジネスに関する専門的な知見を持ち合わせておりませんので、今後のプラン作成の糧となるような課題の提示やアドバイスは私以外の審査員の先生方にお任せするとして、感想のかわりに思い出話で学生さんを応援したいと思います。

審査をしながらふと、8年前に出会った数人の日本人 の若者の顔が頭をよぎりました。当時、二桁成長を続け、 万博も開催中というまさに昇龍の勢いの中国・上海での ことです。急激に経済発展する姿をこの目で見るべく、 知人の青年実業家と連れ立って上海に赴いた夜、現地で 暮らす知人の従弟と外国人の溜り場になっている、とあ るパブで落ち合うことになりました。木製の重いドアを 押し開けると11時を過ぎているというのに店内は満席。 熱気と紫煙が充満し、昼間の街の喧騒がそのまま引っ越 してきたかのような賑やかさです。ウェイターに案内さ れて酔客の間を縫うように奥の大きなテーブル席にたど り着くと、そこには日本人らしき若者が数人。スーツ姿 もいれば、茶髪でTシャツ、どう見ても二十歳そこそこ にしか見えない女の子もいます。そして彼らの会話に耳 を傾けると、誰もが熱く自分が描くビジネスの夢を語っ ています。知人の従弟は日本酒を中国で普及させる夢。 茶髪の女の子は上海で自分のネイルショップをオープン させる夢。スーツ姿の青年はまだ学生なのに東京で広告

関係のビジネスを立ち上げて成功をおさめ、次は中国でそのビジネスを拡大発展させたいと目を輝かせながら夢を語ります。資金力もなく、おそらく中国語だってたいしてできないでしょう。しかし、お金や言葉の壁なんてどこ吹く風といった顔です。「なんという無鉄砲。でもなんて行動力のあるやつら。日本の若者ってすごいやん」。僕は眩暈を覚えるくらい感動した記憶があります。そして8年後、ビジネスプランを熱く発表する追大の学生さんの姿が、あのとき上海で出会った若者の姿に重なりました。

今はまだ綻びや欠点だらけのビジネスプランしかつくれなくても、「熱」をもって継続すればやがて大きな成果につながるはずです。意志あるところに道はひらける。短期間にあれだけのビジネスプランをまとめ上げるのは、きっと大変だったことでしょう。プレゼンの練習も何度も繰り返したと思います。だからこそ、その苦労とやり遂げた達成感を忘れずに、コンテストの経験を今後の人生にぜひ生かしてください。



#### 第9回追大学生ビジネスプランコンテスト〈感想〉

審査員 本学名誉教授 西岡 健夫 (ベンチャービジネス研究所顧問)

今回のビジネスプランコンテストでは、18件の発表がなされたが、さすがに第2次審査に残った選りすぐりの18作品だけに、プランの内容もプレゼンテーションの仕方も優れたものばかりであった。

プレゼンテーションについては、事前に練習をしているのであろうけれども、随所に工夫の跡が見られた。パワーポイントなど見せる技術も優れていた。また、発表後の質疑応答において、発表学生の答え方は的確であった。

ビジネスプランの内容については、アイデアにあふれたものが多かった。現在、社会にはどんなニーズがあるのかを探り、そのニーズにいかに応えるかを考えたうえで、ビジネスモデルがよく練られていたと思う。

また、単に利益をあげるだけでなく、社会的責任、社会的貢献に配慮したプランも少なくなかった。それらは、社会的企業(ソーシャルエンタープライズ)として進めていけそうなものであった。この点、経営倫理学、社会的責任論を専門とする私にとっては、とくにうれしいことである。

ただ、欲を言えば、実現可能性について、もう少し詰めをしてほしいと思う。ビジネスプランの実現に向けての具体的方法、収支見積もりなどである。しかし、まだ

若い学部学生のプランであることを考えれば、それは無い物ねだりであり求め過ぎであろう。

総じて、今回の発表は内容もプレゼンテーションもよかったと思う。また、賞から漏れたビジネスプランもそれほど見劣りするとは言えないのではないかと思う。私個人としては、賞をもらえなかったプランの中にも高い得点を付けたものもある。

ビジネスプランコンテストに参加した学生の皆さんは、 今後が楽しみだと思っています。経営だけでなく、広く 経済や社会の勉強をして視野を広げてください。そして、 創立130周年を経た追手門学院を今後も大いに盛り上げ ていってほしいと期待しています。



#### 第9回追大学生ビジネスプランコンテスト〈感想〉

審査員 経営学部 教授 池田 信寛 (ベンチャービジネス研究所所員)

今回もアイディアあふれるビジネス・プランが発表されて、本コンテストのレベルが上がっていることを嬉しく思います。今後、更なるレベルアップを目指していただくために、2つほど、アドバイスをします。

まず、誰も思いつかない極めて独創的なアイディアを出す方法として、「非常識さ」を考えることをお勧めします。いまでは常識になっている数々のアイディアも10年前、あるいは、数年前には考えられなかったものです。非常識を常識にする、当たり前でないことを当たり前にする、それが真の独創的、オリジナルなアイディアです。ブレインストーミングでは当たり前な、「人の

意見を否定しない」という精神がとても大切です。「こんなアイディア、だめだろう」というアイディアこそ、次世代のビジネスを生み出すのです。

2つ目は、パワーポイントでの発表が当たり前になってきました。その中で、いかに差別化を図るか、考えてください。もちろん、パワーポイントがプレゼンテーションのすべてではありません。TEDのように、スピーチで人々を説得するというのも有効な手段です。パワーポイントが常識になった今、スピーチで説得する方法を考えてみるのをお勧めします。

これからも頑張ってください。

#### 第9回追大学生ビジネスプランコンテスト(FUJITEC杯)を終えて

審査員 経営学部 准教授 宮宇地 俊岳 (ベンチャービジネス研究所所員)

今年で第9回目を迎えたビジネスプランコンテストが 無事に終了しました。毎年、学生らしい斬新なアイデア に基づいたビジネス提案に接することができる場なので、 何気に楽しみにしていたりもします。

参加学生も、これまでに無い新規性のあるアイデアを出そうと、あるいは複数の既存の技術や仕組みを組み合わせて「新結合」(シュンペーターですね)となるように努力と工夫をされていたように思います。その影響か時代の流行か、新規性を打ち出す方向性としては、「アプリ」を活用したビジネスや「クラウドファンディング」を用いた資金調達方法といったワードが目立ちましたし、既存のものを活用するという方向性としては、既存企業との「提携」といったワードが目立っていたと思います。

学生さんからすると、アプリも提携も魔法の言葉で、どんなビジネスプランをも可能にしてしまうのかもしれませんが、実は、立ち止まって考えてみる必要があるかもしれません。アプリは、やはり開発のための技術が不可欠ですし、開発費用、保守点検、アップデート(バグ取り・改良)の問題があります。他企業との提携も、提携する他企業側にメリットがないプランには提携の同意は得られないでしょうし、その技術等がその企業のコア技術なら、安易に他社には開放はしてくれないかもしれません(提携するより、その技術をもった企業が自社でやった方が儲かるという可能性もあります)。「アプリ」と「提携」を多用したビジネスプランは斬新ではあるものの、他方で実現可能性はそれほど高くないのではないか?との懸念を抱きました。

また、「法律」と「会計」の勉強が足りていない学生が多いなという印象ももちました。儲けるアイデアとしてはいいものの、違法行為(あるいは脱法行為)にあたるビジネスに該当してしまう場合もありました。また、ビジネスの採算性のところでは、人件費がかかることや、設備投資をすれば減価償却費がかかるし、保守点検の費用がかかることも十分に理解できていない学生もいました。ビジネスを成功させるうえで、斬新なアイデアはもちろん重要なのですが、同時に、法や会計への理解・知識も重要です。

今回は、ビジネスプランといいながらも、非営利性の強いプランも目立ちました。社会的な問題を解決するための事業提案ということで、社会的には意義深い事業も散見されました。(本来の事業を)非営利として継続するためには、他のどこかで収益をあげる必要がでてきますので、(収益を獲得する仕組みが埋め込まれた)非営利のプランが存在するのならば、今後見てみたいなと思いました。今後の楽しみにしています。







# ベンチャーガジネス 単光 下土舗・レジテック 株式 会社 協賛 第9回 過大学 生 ガジネス プレンコン デスト

表優秀賞フジテック賞1組(副賞:クオカード5万円) W受賞! 1組(副賞:クオカード3万円)

:182

プロジェクション・エレベーター プラン名 プロエレ: 小野 松赋 名前(学年) 矢川 実咲(2) 兵庫 沙耶花(2) FUJI - Sun グループ名

	空港から宿までの案内付 ポーターサービス	スーパーロッカー	(非)地方伝統祭事保全協 (株)丸受け屋	地域を越えた親孝行交抄 サービス
-F3万円分	統	松河	松	数
優秀賞4組(副賞:クオオカートシスク田分)	川上 瑞生(4) 津田 一菜子(4) 岡田 真治(3) 素 葉咲(3) 山本 衣舞莉(3) 永田 輸諒(2) 中本 貴文(2) 液邊 菜々(2)	角倉 早紀(2) 仮谷 優花(2) 矢川 実咲(2) 小谷 敦也(2) 寺田 華菜(2)	近端 碘人(3)	図田 優生(2) 沢村 売介(2) 塚脇 甍(2)上田 光莉(2) 田中 あゆこ(2)
	クリステル	Superman	「わっしょい祭 リ!!」こと 近澤憲人	チーム:リアップ

	マタニティブル一解消 「赤ちゃんカフェ」	女性による女性のための "胸"測定	家電お試しトライアル	ペット殺処分ゼロ社会に向けて	<i>ኑህー</i> ムサポート	人生すべての パーティープロデュース
'5千円分)	松	松	松	数	松	松
<b>奨励賞6組</b> (副賞:クオカード5キ円分)	西村梓(4) 中田裕介(4) 森田翔人(4) 小原曉奈(3) 田中俊輔(3) 夏原潤也(3) 今村江津子(2) 塩谷和真(2)	今田なつみ(2) 三輪茶未季(2) 前田雄斗 (2) 越智大雅(2) 野中りのあ(2) 木田知江(2)	朝田美紅(2) 真森 樹(2) 中井みのり(2) 上田弥佑(2) 高橋航介(2) 三浦寿樹(2) 岡勇輔(2)	岡村俊(4) 峯德洋(4) 竹内梨乃(4) 山住光(3) 安部有咲(3) 小川由(2) 岡本仁裕(2)	白石 蒼馬(3) 梶原 達哉(3)	崎山翔吾(4) 野口桃花(4) 月田真穂(4) 今井陽斗(3) 竹内亮(3) 沢村亮介(2) 田中あゆこ(2)
	さくらんぼ	9/1×2階	HOME 電	アニマル あったかホンポ	天使の指	一期百余

ベンチャービジネス研究所主催 フジテック株式会社協賛 大型 バジャスプラン 第9回

医腹椎	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30	16:40	16:50		17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10	18:20	18:30
ビジネスプラン名	HAIRANGE	マタニティブル一解消「赤ちゃんカフェ」	家電お試しトライアル	人生すべてのパーティープロデュース	オムニチャネルによるIT+英会話ビジネス	地域を越えた親孝行交換サービス	ペット殺処分ゼロ社会に向けて	ぼいたまグッドモーニング	空港から宿までの案内付きポーターサービス		ヘルスレポート	ドリームサポート	(非)地方伝統祭事保全協会(株)丸受け屋	未来につなぐ家庭科再教育	女性による女性のための"胸"測定	シャッター商店街解消ミニシアター×街コン 18:00	プロエレ:プロジェクション・エレベーター	スーパーロッカー	Sports Donation
チーム名(代表者名)	森優東	さくらんぼ	HOME 電	一期百会	IT副兵隊	チーム:リアップ	アニマルあったかホンポ	こえたま!	クリステル	休憩(10分間)	ライフスマイル	天使の指	「わっしょい祭り!!」こと近澤憲人	イヤンス	器メンの	ニコニコ天使ちゃん	FUJI-Sun	Superman	NATURE
严粹	1	2	cc	4	2	9	7	∞	6		10	11	12	13	14	15	16	17	18

44

どなたでも見学ができますので、ぜひお気軽にお越しください。 12月6日 (木) の15:10 (発表は15:30頃から) から 第2次審査(ビジネスプラン発表会)は、 6101教室で実施します。

TEL:072-641-7374 お問い合わせ:ベンチャービジネス研究所(研究権 6 F) E-mail: venture@ml.otemon.ac.jp TET:07

## FUIITEC存



追手門学院大学学生を含むグループ。

個人またはグループ。ただし、大学生、大学院生の場合は、

追手門学院大学の学生個人か、1名以上の



追手門学院大学 想像もしなかった自分史がはじまる



※※ ダイナ

◆お聞台は◆ ★は間では 本は、 大力・イン・イン・スタイの TEL: 072-643-9597 Email: venture@mLotemon.ac.jp

## 募集要項 学生ビジネスプランコンテスト 第9回 追大 ITEC #

## 2 募集内容

ニーズがあるもののこれまで供給がなかった、社会に役立つビジネスプラン・アイデア

## ⑤応募資格

# 大阪府下の高校、大学、大学院に通う学生

個人またはグループ。ただし、大学生、大学院生の場合は、追手門学院大学の学生個人か、1名以上の追手門学院大学学生を含むグループ。プラン・アイデアの内容が異なれば何件でも応募することができます。

## ■ 審査基準

プラン・アイデアのオリジナル性、市場性、実現可能性、社会貢献性、及び、プレゼンテーション能力。

## 5 審査員

本学ベンチャービジネス研究所の所員・研究員・顧問、及び外部の有識者の中から審査委員を選出して審査します。

## ◎審査方法とスケジュール

(1) 第1次審査:8月1日 (水) ~11月1日 (木) の間に提出された書類を基に審査を行います

・審査結果を11月中旬にメールで通知します。

(2) 第2次審査:12月6日(木) [会場]追手門学院大学6101教室・ビジネスブラン発表会でのプレゼンテーション (パワーポイント等を使用)を基に審査します。発表会と第2次審査の後、結果発表と表彰を行います。

## ■応募方法・提出先

(データ申込みのみ受け付けます。) 応募申込書は下記のホームページからダウンロードしてください。 ブラン・アイデア1つにつき応募申込書1部が必要です。 所定の応募申込書に必要事項を記入の上、必ず応募フォームに申込書を添付してご応募ください。

・ベンチャービジネス研究所URL https://www.otemon.ac.jp/research/labo/venture/ https://ws.formzu.net/dist/S16204150/ ・コンテスト応募フォームURL

## ❸お問合世先

追手門学院大学ベンチャービジネス研究所(研究棟6階) 〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 TEL:072-641-7374 FAX:072-643-9597 E-mail:venture@ml.otemon.ac.jp(担当 宮下)

## 事業期間

平成30年8月1日 (水) ~11月1日 (木) まで必着

## ❸賞状と賞金

QUOカード 5万円分 盔 優秀賞 4組 QUOカード ・最優秀賞フジテック賞

QUOカード 3万円分 ・ 薬励賞 6組 QUOカード 5 千円分 ・フジテック賞特別賞 1組

## ■その他の注意事項

応募プランの知的所有権は応募者に帰属します。受賞したプランは、応募者に了解を得て、概要を公表します。 審査結果の発表後、盗作や虚偽の事実等が判明した場合は受賞失格となります。応募に当たっては、知的財産 権等について、第三者の権利の侵害、その他の問題が生じないよう、十分に注意して下さい。その他、応募に 関して、何かご不明な点がありましたら、上記お問合せ先まで、ご遠慮なくご質問ください。

#### □ ビジネスプランコンテスト 最優秀賞フジテック賞・フジテック賞特別賞 (W受賞)・

#### 「プロエレ:プロジェクション・エレベーター」

矢川 実咲・兵庫 沙耶花 (経営学部2年)

私たちは初めて出場となるビジネスプランコンテストで最優秀賞FUJITEC賞とFUJITEC賞特別賞を受賞させていただきました。ビジネスプランコンテストという機会を通して感じた事はアイデアをビジネスにする事の難しさとチームや周りの人達の大切さでした。

アイデアをビジネスにする事の難しさは今回とても痛感しました。良いアイデアを出してもビジネスに変えてゆく為には自分達がやりたいだけでなく、相手にとってどんなメリットがあるか、それは継続した事業展開が出来るのだろうかと考えると何度も行き詰まる時がありました。私たちのプランの目的は"心理的ストレスを軽減したい"という目(数字)には見えづらいものだったのでオフィスビル数、人口等のデータや企業の利益、オリジナル性、費用等の裏付けを意識しました。そして費用面ではプロエレはレンタル業と広告業の両方を担っていたのでそれぞれ売上の出し方も違い困難でしたが、今まで学んだ簿記や会計の勉強をしてきた経験の積み重ねが役立ちました。簿記の講義で学んだ知識がそのまま活用でき、アイデアをビジネスにする事の難しさだけでなく日々の講義の大切さにも気づく事が出来ました。

チームや周りの人の大切さはコンテストを通じ改めて感じられました。今回チームメンバーが2人と少数で不安な部分はありましたがその分お互いが自分に足りない部分を補い合い、一人一人責任感を持って自主的に動く事が出来ました。個人ができる事は限られていてもチームになると何倍もの力を発揮できると知りました。また賞を取れたのは相談に乗って下さった先生方や意見を言ってくれた友人のおかげです。1次予選では費用の計算の仕方や、文章の添削、書き方を教えて下さり、2次では発表の練習を見て頂くなど私達2人では気づけなかった視点からの意見の多くをご教授頂きました。その時プランの欠点だけでなく良い点も評価されたことが自信にも繋がりました。発表当日はアドバイスをくれた先生や友人の為にも最優秀賞を必ず獲って帰りたいという気持ちがあり、それが発表する力にも変わりました。他にも、発表していた他のチームから話の間の取り方や、パワーポイントの構成等会場にいたからこそ学んだ事がたくさんありました。審査員の方々からの講評はまた新しい視点から見られており『プロエレ』の新たな発見と更なる可能性がありました。

最後に今回このような機会を作って下さったベンチャービジネス研究所様。この場をお借りして心からお礼 を申し上げます。本当にありがとうございました。

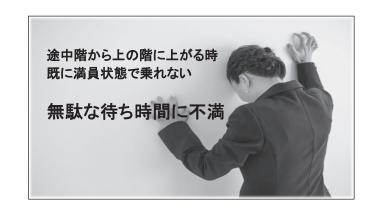
今後このビジネスプランコンテストで積んだ経験を糧にこれからの大学生活でも、自ら進んで学び、考え、 行動できるよう活かしていきたいと思います。

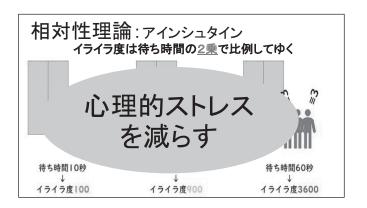


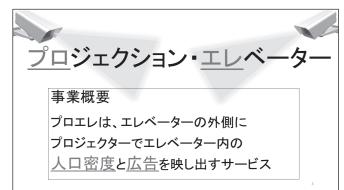


#### プロエレ

FUJI ★Sun 17ma197 矢川実咲 17ma128 兵庫沙耶花

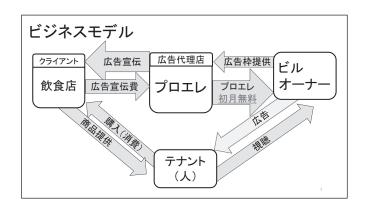


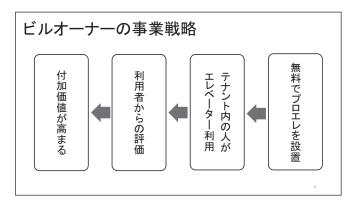


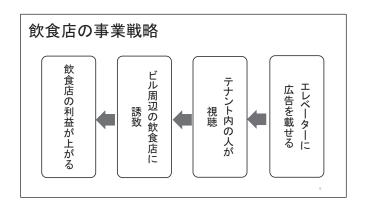


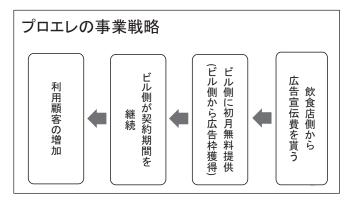


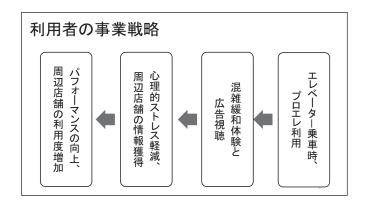


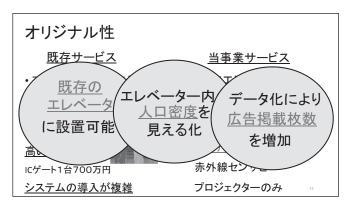




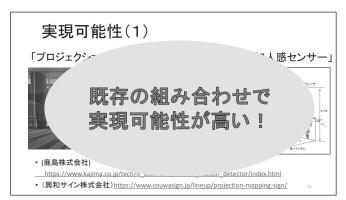












#### 実現可能性(2)

#### 専門広告代理店

特定の広告業務を専門として取り扱う広告会社

□ →担当するメディアの「枠」を売るための営業活をしている





ADEX 株式会社 日本経済広告社

#### 社会貢献性

#### 地域性

→飲食店の広告により街の活性化に繋がる

#### 社会性

→心理的ストレス軽減で仕事環境を良くする

#### 費用(1)

	初年度	2年目	3年目	1か月契約広告掲載費
売上	6,000,000	6,900,000	7,800,000	1社あたり50,000円×100社 ビルオーナー月額料金
1ヶ月契約広告掲載費	5,000,000	5,750,000	6,500,000	1社あたり50,000円×20社
ビルオーナー月額料金	1,000,000	1,150,000	1,300,000	
費用	5,004,600	1,350,690	1,440,690	
プロジェクター天吊り工費	600,000	690,000	780,000	プロジェクター天吊り工費 30.000円×20社
プロジェクター代	2,196,000	329,400	329,400	プロジェクター
サーモグラフィー代	2,208,600	331,290	331,290	1台10,980円×200台 (2、3年目は15%分)
				サーモグラフィー
利益	995.400	5.549.310	6.359.310	1台44,172円×50台

#### 費用(2)

必要資金(初年度)	
運転資金	
人件費	40,800,000
広告宣伝費	300,000
旅費交通費	200,000
事業所の維持費	100,000
光熱費	2,122,848
社会保険料	7,200,000
水道代	120,000
設備資金	
事務用品	1,200,000
内装費	1,000,000
合計	53,042,848

人件費
200,000円×20人
広告宣伝費
売上の5%
光熱費
1,664.8円/KWh
契約電力100kW 力率80%の場合
基本料金 = 基本料金 = 基本料金 = 最近684.8円契約電力
100kW (385 = 80) /100 = 176,904円
社会保険料
給料の15%
https://vts.jp/article/0147/

https://yts.jp/article/0147/ http://markehack.jp/internet-advertising-rates/ https://ifc-guide.com/basic-knowledge/5684/ http://www.msbrain.net/campus.html

#### まとめ

- •エレベーター待ち時間による心理的ストレスの削減を目的
- •エレベーターの人口密度の見える化で他事業との差別化
- 既存のシステムを組み合わせた導入しやすいシステム
- •ステークホルダーそれぞれにメリットがあるような継続的な 事業戦略

ご清聴ありがとうございました











#### きたしんビジネスマッチングフェアに出展いたしました。

#### 1. ビジネスマッチング

学生研究員が現在、継続して活動しているプロジェクト「北摂エリアマッププロジェクト」(通称:ほくせつ探検大学)の活動内容の説明や展示を行いました。また来場者の方々に北摂エリア7市3町の美味しいお店やお気に入りのスポットなどのアンケートを実施した結果、2日間で約250名の方々にご回答頂き、大盛況のうちに終了いたしました。このアンケート結果は、今後の活動に役立てていくと共に、下記SNSの中でも取り上げて行きたいと考えています。

「ほくせつ探検大学~北摂エリアマッププロジェクト~」

.....

ホームページ https://hokusetsumpj.wixsite.com/mpj-1

Instagram https://www.instagram.com/hokusetsu.university/

Twitter https://twitter.com/HAMPJ2016

Facebook https://www.facebook.com/hokusetu.mpj/

YouTube https://www.youtube.com/watch?v=JCIIXef281Q



#### 2. 中小企業経営支援セミナー

中小企業経営へのワンポイントアドバイスとして下記セミナーを開催 致しました。

講師:金森喜久男教授(本学経営学部・ベンチャービジネス研究所研究員)

テーマ:「中小企業の潜在的リスク…天災から企業を守るために」

※詳しい内容は次頁以降ご参照下さい。





#### 「中小企業の潜在的リスク…天災から企業を守るために」



日時:2018年11月13日火り14:00~15:00 会場:マイドームおおさか セミナー会場B

講師:追手門学院大学経営学部教授

金森喜久男(マーケティング学科)

#### 

情報セキュリティ・リスクマネジメント関西研究所

パナソニック客員

代表理事

(職 歴) 松下電器産業株式会社 入社(現パナソニック) 同社 北陸支店 支店長 営業 松下電送システム株式会社 常務取締役

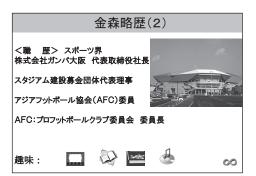
松下電送システム株式会社 常務取締役 物を企画し製造・販売・保守

金森略歴(1)

松下電器産業株式会社 パナソニックシステムソリューションズ社 常務取締役

情報セキュリティ本部 本部長世界松下Gを統括

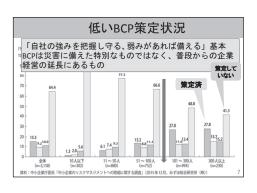
内閣府・経産省 情報セキュリティ諮問委員会委員

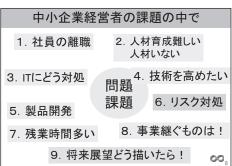


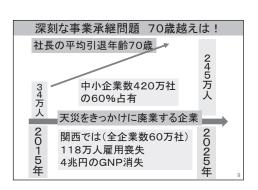
	大・中・小企業区分け						
	中小企業	大企業					
製造業	3億円以下 300人以下	3億円超える 300人超える					
卸売業	1億円以下 100人以下	1億円超える 100人超える					
	監査する人・組織がない						

企業数と従業員数									
	企業数	従業員数							
大企業	11, 926社 <b>0.3%</b>	14, 628, 938人 34%							
中小企業	4, 201, 264社 99. 7%	28, 343, 220人 66%							
(小企業)	(3, 665, 361社)	(9, 120, 929人)							
合計	4, 213, 190社	42, 972, 158人							
	製造額は	は中小企業36.2%							
中小企業は日本経済の基礎									









#### 大阪府北部地震で判ったこと



6月18日7時58分 M6.1 最大震度6弱 JR, 阪急、モノレール など交通機関 全運休

ブロック塀倒壊し女子が死亡(読売新聞社) 建設会社技術者:東京では考えれない状態 危険ブロック塀の放置、家具の固定etc

地震が来るという認識が無い!潜在的リスク

#### リスクを感じないわけ:経験

人は痛いを経験し学ぶ





経営者:経験しなくても痛みを同質化できること

地震・豪雨が来る前提で対策を!:顕在化

#### 日本を襲った2018年度天災

- 1. 平成30年豪雪
- 2. 大阪北部地震 6.18
- 3. 平成30年7月豪雨 6.28~7.8 台風7号
- 4. 台風 12号 7・25~8・5
- 5. 台風 20号 8-16
- 6. 台風 21号 9・4
- 7. 北海道胆振東部地震 9.6
- 7. 台風 24号 9:30



囚

わ

#### 災害によるイメージ変化

災害前のイメージ

災害後のイメージ

国内電力は堅牢

大規模停電起こりうる

交通マヒー時的

復旧に何日もかかる

データーセンター安全

個々のデータCに依存

携帯電話があれば安心

携帯は不安定 インターネットは安全

部材資材供給は安定

被害なくとも不安定

#### 災害時対策項目

1. 従業員安否確認 社員・家族・何所に

2. リスクファイナンス 4. 取引先対策

3. IT対策

顧客•仕入先 対策 課題

6. 事業場確保

5. インフラ対策 電気・水道・道路

8. 通信手段確保 7. 工場稼働対策

経営の中心課題でないという認識。

#### ある食品会社の潜在的リスク

戦略:清潔で美味しい企業

戦術:食中毒を起こさない企業宣言!

それから毎日、朝会で食中毒起こさないと唱和

検証方法、決まっていなかった

1. 手洗いの実行

2. 手・包丁・鍋・まな板の消毒 3. 処理工場の無菌化

心を変えるのでなく行動を変える事できなかった

#### 多く存在するリスクファクター

- 市場リスク 信用リスク
- 財務リスク
- 不動産リスク 自然要因リスク

- 人的リスク 制度的リスク 技術システムリスク 情報漏洩リスク
- 情報セキュリティリスク (情報セキュリティ活動で対応)

体制を構築できる

・全て同時は混乱・コスト高

一つのテーマ推進で風土・

けん引するタスク項目を

- 10. 業務リスク 11. 製品リスク
- 品質リスク
- 知ってはいても行動に
- 13. ITリスク など30項目 移していない:知らないと同じ

#### リフキン:日本への提言



ジェレミー・リフキン

米国出身未来学者

米国出身経済学者 · 未来学者 提言:限界費用に注目

ある生産量からさらに一単位多く 生産する時に追加的な費用

追加的費用

100個 🥥

#### エネルギー:日本の潜在的リスク

原子力・石化エネルギーから クリーンエネルギーに!

太陽光、風力、地熱などは限界費用低い ドイツ初め欧州、中国は急速転換

再生エネルギーコストは低減

2025年 45% 2035年 60% 2050年 80%

日本製品は世界で勝てない:コストカ

#### 早急に取り組む項目 20世紀の化石燃料と原子力から脱却 限界費用がほぼゼロで採取できる分散型の 再生可能エネルギーへ迅速に移行必要



#### これからの日本

IOT(インターネット・オブ・スイングス)から IOE(インターネット・オブ・エブリシング)へ 万物のインターネット

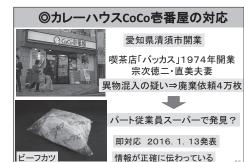
モノだけでなく、人、モノ、システム情報、組織の運営などの「プロセス」を含むネットワーク

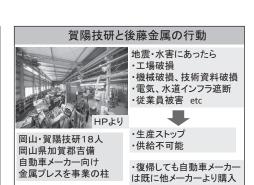
不可避 アクセシング・トラッキング・シェアリング 接続していく・追跡していく・共有していく

潜在的リスク 西日本JR脱線事故事例 2005年4月25日9時18分 死者107名負傷者562名 5時間後 置き石が原因と発表しかし真実は 異常スピード

Wikipedia 自動列車停止装置(ATS-SW)

1. 危険がありATS必要と報告されていた
2. 情報が正確に伝わらない為に大きな不信感







岡山・賀陽技研の対策 ・天災時同じ品物供給 ・納入を絶やさない体制 ・納入権を確保しよう ・燕市、後藤金属 18人 絞り加工技術

・燕市、ミノルプレス工業所

#### 賀陽技研と後藤金属:提携 岡山・賀陽技研18人 1. 災害に有った場合相互 自動車メーカー向け 製造を補う

金属プレス

燕市•後藤金属18人

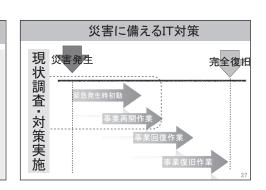
ミノルプレス工業所

絞り加工技術

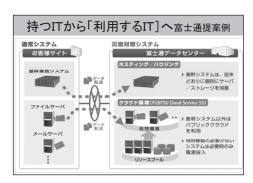
製造を補う 2. 絞り技術など両社技術

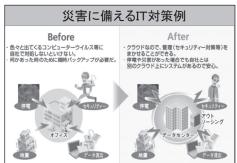
2. 絞り技術など両社技術 活用

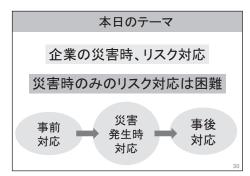
3. 新たな設備ダブり投資 無くす プレス加工の受注 2社分の営業・製造力 営業・製造業務提携

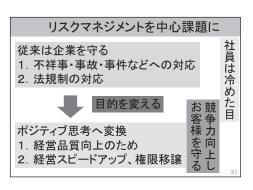


7

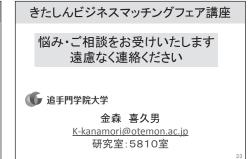






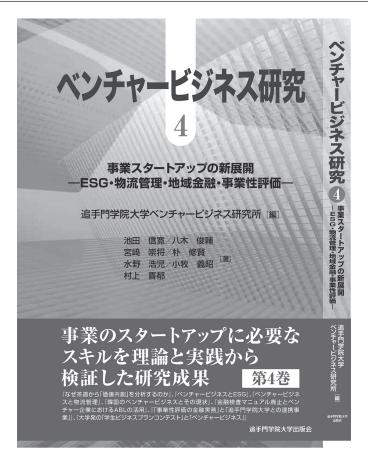








#### 本学出版会より『ベンチャービジネス研究』第4巻を出版いたしました。



#### ベンチャービジネス研究 第4巻 事業スタートアップの新展開 — ESG・物流管理・地域金融・事業性評価 —

- 1. なぜ茶道から「価値共創」を分析するのか 池田 信寛(追手門学院大学経営学部 教授)
- 2. ベンチャービジネスとESG 八木 俊輔(追手門学院大学経営学部 教授)
- 3. ベンチャービジネスと物流管理 宮﨑 崇将(追手門学院大学経営学部 講師)
- 4. 韓国のベンチャービジネスとその現状 朴 修賢(追手門学院大学経営学部 准教授)
- 5. 金融検査マニュアル廃止とベンチャー企業における ABI の活用

水野 浩児 (追手門学院大学経営学部学部長 教授)

6. 「事業性評価の金融実務」と「追手門学院大学との 連携事業」

小牧 義昭(北おおさか信用金庫 常務理事)

7. 大学発の「学生ビジネスプランコンテスト」と「ベンチャービジネス」

村上 喜郁(追手門学院大学経営学部 准教授)

#### <内容紹介>

事業のスタートアップや中小企業経営の円滑な事業活動には、資金調達、情報提供、市場環境分析、マーケティング分析等、幅広い知識や実践による検証が必要です。 最近はSNSなどで情報入手の多様化が進んだ結果、情報整理困難となり、結果的に企業経営に有益な情報を入手することができないこともあるように思われます。本書は、

- 1. なぜ茶道から「価値共創」を分析するのか
- 2. ベンチャービジネスとESG
- 3. ベンチャービジネスと物流管理
- 4. 韓国のベンチャービジネスとその現状
- 5. 金融検査マニュアル廃止とベンチャー企業における ABLの活用
- 6. 「事業性評価の金融実務」と「追手門学院大学との 連携事業」
- 7. 大学発の「学生ビジネスプランコンテスト」と「ベンチャービジネス」

について7人の実務家と研究者により、実務と理論を交えながら論じたものです。幅広い観点からベンチャービジネスを取り巻く環境をタイムリーにまとめています。中小企業経営者や、これから起業を考えるより多くの方に企業経営のヒントや魅力が伝わることを願っています。

#### 2018年度ベンチャービジネス研究所 所長・副所長・所員・研究員・顧問一覧



役 職	氏 名	所 属 等
所 員	八木 俊輔	経営学部教授
所 員	山下 克之	経営学部教授
所 員	李 建	経営学部教授
研究員	金川 智恵	経営学部教授
研究員	金森喜久男	経営学部教授
研究員	中野 統英	経営学部准教授
研究員	梶原 晃	久留米大学商学部教授
研究員	田淵 正信	客員教授・公認会計士・税理士
顧問	合田 順一	茨木商工会議所会頭
顧問	西岡健夫	追手門学院大学名誉教授
事務員	宮下知子	

2018.4.1現在

(50音順)

- ① 2019年度ベンチャービジネス研究所活動に参加して頂ける教員(所員・ 研究員)を募集しております。ベンチャービジネスや事業承継について研 究、出版にご参加ください。
- ② 学生研究員募集

ビジネスプラン・プレゼンテーション・ホームページ・アプリ・プログ ラミング・地域貢献などに興味のある学生研究員を募集しています。先生 方からも学生にお伝えください。

#### ··· Newsletter vol. 21

- 編集·発行 2019年3月15日 印刷 2019年3月15日発行
- ■編集代表者 水 野 浩 児
- 印 刷 所 川西軽印刷株式会社

■ 発 行 所 追手門学院大学 ベンチャービジネス研究所 〒567-8502 茨木市西安威2-1-15

TEL/072 (641) 7374 FAX/072 (643) 9597

(事務局 宮下知子)

E-mail: venture@ml.otemon.ac.jp

http://www.otemon.ac.jp/research/labo/venture/